



平成28年度

# 子ども会

いせはら



市の花「ききょう」

発行：伊勢原市子ども会  
育成会連絡協議会  
編集：広報部会  
発行日：2016年10月

## ★ 子どもたちの想いと未来



### 七夕かざり 届け みんなの願い！

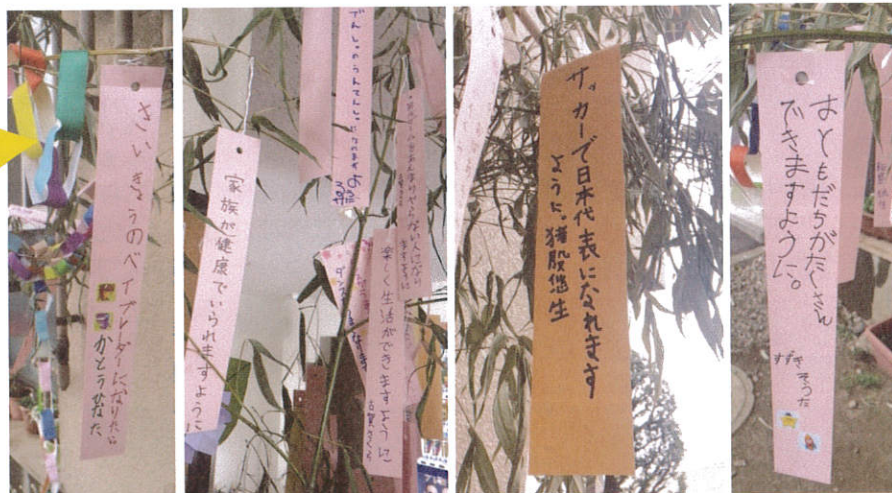
今年も6月30日から7月8日の期間に、青少年センター玄関前と1階ロビーで七夕飾りの展示を行いました。今回は各地区の子ども会に短冊を配布し募集したところ、かわいらしい願い事がたくさんあつまり素敵な七夕飾りにすることができました。短冊を飾った高さ2m超もある立派な6本の竹は、今年も石田地区の方からご提供いただきました。ありがとうございました。

展示後の短冊は、7月に行われたインリーダー・ジュニアリーダー合同研修キャンプにて、キャンプファイヤーで燃やしました。きっとみんなの願いは星に届いたことでしょう。

竹園地区 齊藤安公子



みんなの  
願い  
星に届け♪



伊勢原市公式  
イメージキャラクター  
クルリン



### 折り鶴をつくりませんか？

伊勢原市子ども会育成会連絡協議会では、通年行事として折り鶴を募集しています。集まった折り鶴で千羽鶴をつくり『伊勢原市平和のつどい』での展示や広島平和記念公園『原爆の子の像』へ奉納を行っています。

折り鶴づくりは平和や子どもたちの健やかな成長、地域の安全等の願いを込める他に「伊勢原市内の子ども会をつなごう」という目的があります。気軽に取り組める活動としてぜひご協力ください。折り紙は15cm×15cmのサイズで作っています。

青少年センターの1階には回収箱と折り紙の用意があります。ご協力いただける子ども会には折り紙を配布していますので、市子連事務局（市青少年課）へお申し出ください。平和への願いを込めて一羽でもご協力いただけたら幸いです。

大田地区 稲田昌子

# インリーダー・ジュニアリーダー合同研修キャンプ



全員でハイポーズ♪

7月30日・31日 すっきりと晴れ渡る青空の下 日向ふれあい学習センターにおいて、インリーダー・ジュニアリーダー合同研修キャンプが行われました。今年も市内各小学校から19名のインリーダーたちが元気に参加をしてくれました。迎えたジュニアリーダーは14名、シニアリーダーは6名でキャンプがスタートしました。

開会式ではジュニアリーダーが司会進行を立派に努めました。ジュニアリーダーやシニアリーダーのあいさつはとても声が大きく元気がよくて、緊張気味で声が小さいインリーダーたちも引きずられるように徐々に声が大きくなっていきます。大きな声であいさつするって気持ちがいいですね。みんなの顔が笑顔になっていきました。

今回は「ポテトチップ望遠鏡」を製作しました。シニアリーダーが作り方を説明し、難しい工程はジュニアリーダーが協力して、賑やかに作業は進んでいきます。レンズの取り付けにはみんな苦勞したけれど、大小の空き容器を使って完成した望遠鏡を覗くとちゃんと景色が見えました。すごい！

夕食は川辺の屋外炊事場でカレーを作りました。「ちょっと水が多かったな」「うちのカレーが一番おいしいよ」といながら食べるカレーは、どれもとてもおいしかったです。暗くなってからはキャンプファイヤーと花火で楽しみ「すごく楽しかった～」とみんな笑顔で話してくれました。

住んでいる地域も違う、学校も違う、そんな子ども同士が初めて出会って一緒に活動班になり、すぐに打ち解けていく様子や成長する姿を見て、学校ではできない体験ができて有意義な経験になったことと思いました。またインリーダーはジュニアリーダーを、ジュニアリーダーはシニアリーダーを見ながら役割を果たして成長していることを感じ、これからの更なる成長が楽しみになりました。

ここ数年、学校を通じた案内配布で電話での募集受付となり、今回も受付開始から3日で定員に至りました。好評をいただき嬉しい反面、定員に達して参加できなかったインリーダーも多かったので残念な思いもあります。

今回中心となって企画してくれたシニアリーダーと、ジュニアリーダーズクラブ相談役の方々のサポートをはじめ「子どもたちのためなら」とたくさんの方のご厚意をいただき、合同キャンプを笑顔で無事に終えることができました。ありがとうございました。

大田地区 磯部千津子



この望遠鏡をつくりますよ♪



レンズをはめる穴には苦勞しました。



どのカレーが一番おいしいかな？



じゃがいもの皮むき上手だよ！



キャンプファイヤーは盛り上がります♪

# 元気に！楽しく！子ども会活動 2016 SUMMER



7月16日(土)講師に県立青少年センター指導者育成課の川手先生をお迎えし、子ども会育成者向けの研修会を開催しました。当日は49名の参加をいただき、市子連役員も一緒に研修会に参加しました。

はじめは、アイスブレイキングとして手遊びやゲームを行いました。カテゴリーゲームでは楽しく盛り上がり、緊張していた場の雰囲気も一気に和みました。その後グループワークを行い、今までの振り返りや今後の活動について話し合いました。各子ども会行事の紹介や情報交換もでき市子連役員も大変参考になりました。

最後に「大人も子どもも、みんなが楽しく参加できるには」をテーマにしたスローガンづくりを行いました。どのグループも協力して熱心に取り組んでいました。完成したスローガンはグループごとに発表し、充実したワークショップとなりました。

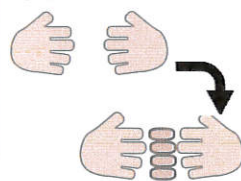
高部屋地区 吉田幸代



みなさんは『空飛ぶウイナー』を知っていますか？右図のように両手を使って視点を変えると本当に指がウイナーに見えるんです。私は今回初めて見てスゴく感動しました。最初は「研修会」という事で緊張していましたが、講師の方がとてもフレンドリーでとても楽しく過ごせました。一見の価値有りですよ。

高部屋地区 中田俊彦

両手を目の前でかざして視点を遠くへ保ちながら手を体から少しずつ離していくと・・・指が重なってウイナーみたいに見えるってゲームなんです(笑)



研修会の参加者の皆さんとコミュニケーションをうまく取る方法「アイスブレイキング」を学べて良かったです。子どもたちとやってみたいと思います

大山地区 小林健一

## 【豆知識】

- インリーダー：原則として子ども会に入っている小学校5・6年生。
- ジュニアリーダー：子ども会活動を始めて、地域の活動を支援する中学生・高校生のボランティア。
- シニアリーダー：地域活動への支援及びジュニアリーダーへの指導を行っている、主に大学生以上の年齢相当のボランティア。



みんなでごあいさつ♪

## \*\*\*ごあいさつ\*\*\*

各地域のおまつりや活動で子どもたちの笑顔を見ることはとても楽しいことです。子ども会は行事を通じて地域の方々子どもたちをつなぐ大切な役割を担っています。しかしながら、以前に比べて低学年で未就学児を抱えて役員になるケースも増えており、負担に感じてしまう方が多いのも現状です。

私たち市子連役員は、子ども会や各地区連絡協議会の方々の声にできる限り耳を傾けながら、地域の方々にもご指導いただき、一緒にこれからの子ども会を考えていきたいと思っています。

伊勢原市子ども会育成会連絡協議会会長 磯部千津子

## \*\*\*平成28年度役員\*\*\*

|     |              |    |              |
|-----|--------------|----|--------------|
| 会長  | 磯部千津子(大田地区)  | 監事 | 稲田 昌子(大田地区)  |
| 副会長 | 齊藤安公子(竹園地区)  |    | 中田 俊彦(高部屋地区) |
|     | 吉田 幸代(高部屋地区) | 理事 | 小林 健一(大山地区)  |
| 書記  | 戸田ひろ子(緑台地区)  |    | 八島 満雄(石田地区)  |
|     | 安田久仁子(成瀬地区)  |    | 榎本 恵子(竹園地区)  |
| 会計  | 安藤 政江(伊勢原地区) |    | 杉浦亜紀子(緑台地区)  |

# KYTって何でしょう？

〔キケン（K）〕〔ヨチ（Y）〕〔トレーニング（T）〕の危険予知訓練の略称です。日常の作業や活動、遊びの中に潜んでいる身近な危険を描いたイラストを見ながら、かくれている危険要素を話し合い、協調性や感受性を高めながら、危険予知・回避能力を養っていくトレーニング法のことをいいます。

事故防止の第1歩は“キケンを予知”することです。潜在的な危険を発見しあらかじめ対策をたておくことが、危険を回避し安全確保につながる道となります。子ども会活動でも安全な活動のためにこの方法を取り入れ、子どもたち自身がキケンに対する意識やそれを回避する注意力を高めていくよう推奨しています。

では、具体的に例をあげてみましょう。

## Step 1 どんな危険がかくれている？

① 右下の女の子が包丁を手にもって走っているの、転んで包丁が人に刺さる。② 中央の男の子が包丁を人に向けているので相手にけがをさせる。この他にもたくさんありますが、「人の行動」「場所の問題」「子どもの心理」など、あらゆる視点から危険な状況をできるだけ具体的にたくさん見つけ出していきます。話し合いのポイントは質より量。そして大切なことは「人の意見は絶対否定しない！」それぞれの持つ感覚を大事に進めていきます。さあ、いくつ見つかりましたか？

## Step 2 これが危険のポイントだ！

グループの意見の中から「1番の危険は何か」を話し合って1つ選びます。これはとても難しい作業ですが、何を選んだかではなく選ぶ作業過程で話し合うことが重要です。

## Step 3 私ならこうする

「1番の危険」を予防・防止するにはどうすればいいかを話し合い、具体的な対策を考えていきます。

## Step 4 声に出して安全確認

最後にグループとして行動目標を決め、誰が聞いてもわかりやすいスローガンをつくります。スローガンが決まったら『作業場を整頓し、道具を持って走らない。ヨシ！』などと、みんなで大きな声で確認します。声に出し耳で聞くことで意識がさらに高まり、グループの連帯感が生まれてきます。

竹園地区 齊藤安公子



危険予知トレーニングシート



危険予知トレーニングと聞いて私が想像したのは『大人が子どもたちの行動から危険を察知し、ケガや事故を回避すること』でした。しかしKYT講習会の目的は『子どもたちが自分で危険を察知し、回避行動をとれるようになること』でした。確かに、あらゆる危険回避を大人が行うのは現実的ではなく、子どもたち自身が危険を察知し回避する行動をとるのは子ども会活動でも日常生活においてもケガや事故を減らすためにとても重要だと思いました。KYTは「どんなことがケガにつながりやすいかを大人が教える」のではなく、「子どもと一緒に考えることを繰り返すことにより、子どもたち自身で考える力を身につけていくこと。」私も身近に潜む危険についてこまめに話題にしていこうと思います。緑台地区 戸田ひろ子

## \*\*\* 広報紙作成にあたり\*\*\*

子どもを取り巻く環境が変化し徐々に子ども会離れが進み、子ども会のあり方が問われる時代になってきました。そのような中でも子どもたちは地域の方々や各役員さんに支えられて、いきいきと活動を楽しんでいます。そんな姿を見ると子ども会は大変なものだと感じます。

今回は市子連主催のイベントや活動を中心に紹介する広報紙となりました。それぞれの地区と単位子ども会の活動紹介を、次の号でご紹介させていただきたいと思います。お楽しみに♪

広報部会：齊藤安公子 安藤政江 稲田昌子 中田俊彦

子ども会への入会希望・ご質問・お問い合わせは、各単位子ども会・地区子ども会または、青少年課までお問い合わせください。

伊勢原市子ども会育成会連絡協議会 事務局 伊勢原市子ども部青少年課（伊勢原市青少年センター内）TEL：0463・94・7171